

どうする？を、愛してゆく。

なにかあったら、集合。

この件、どうなった？ どうすればいい？ どうかしよう。

ここには、真剣な顔があふれています。

そういえば たまに言われます。

「三愛のひとは、まじめですね」

確かに、そうだ。

いまどき流行るんでしょうか。

力をぬいて、気楽にいこう。

そんな時代な気がします。

だけどここには、

「じゃあ やってみよう」

「変わっていこう」

そう理想に思い悩み、

汗を流しているひとたちがいます。

大変？ と訊かれたら、ええ、大変です。

でもやっぱりわたしたちは、ひとを支えるひと であるため、
毎日に問いかけつづけています。

なにも使命だとか、大げさなものでなく。

ただただ、ひとを思いやる。

きっと、それが好きなだけなのかもしれません。

2025年、三愛会、55周年。

「どうする？」を愛する、

まじめでひたむきな日々はつづきます。



ひとに笑顔を ちいきに“愛”を

社会医療法人 三愛会



あなたの毎日は、愛らしい。

病院にしろ、介護施設にしろ。
あまり喜んで訪れる場所じゃありません。

どこか、寂しそうな顔でやってくる。あなたもそうでしょうか。

けれど、これまで懸命に生きてこられたあなたの人生が、
寂しいものでなんか あってはいけない。

医師は、日常に厳しい制限をかけるかもしれない。
看護師は、休んでなさいと叱るかもしれない。
栄養士は、大好物を禁止するかもしれない。

でもその奥底にあるのは、
あなたのこれまでの懸命さに応える、わたしたちの懸命さです。

病気に、人生に、いのちに向き合う。
それはひたむきに、あなたと向き合っているということ。

その先にあるのは、つらく寂しい、でなく。

検査結果がちょっとよくなったり。
少しだけ痛みがやわらいだ気がしたり。
家族が会いに来てくれたり。
まだがんばれるかもと、自分を好きになったり。

そんな、ささやかな嬉しさで
彩られていてほしいのです。

2025年、三愛会、55周年。

なんでもない今日が、愛らしく映るように。
これからも、ごいっしょに。



ひとに笑顔を ちいきに“愛”を

社会医療法人 三愛会



大分三愛メディカルセンター / のつはる診療所 / たばるクリニック / 三愛呼吸器クリニック / 介護老人保健施設わさだケアセンター / 介護老人保健施設たばる / 有料老人ホームさんさん / さんあいヘルパーステーション / 三愛訪問看護ステーション / グループホームたばる / 介護保険相談センターさんあい / 三愛総合健診センター